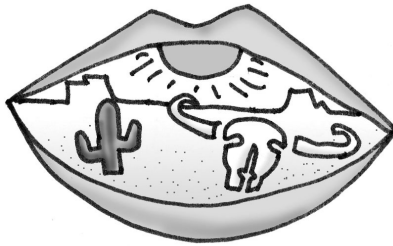


# ドライマウスをご存知ですか？

近頃は人間もドライな人が多くなったようですし、ビールもドライなものに人気があるようです。世の中のこういう風潮を反映してのことなのでしょうか、あるいは地球温暖化で気温が上がったからなのでしょう、口の渇きを訴える人が増えてきています。

## ★ドライマウスとは？

「口腔乾燥症」ともいい、読んで字のごとく口が渇くことですが、人は誰でも水分が足らなくなるとのどが渇きますし、緊張すると口が渇きます。このような一時的なものではなく、慢性的な口の渇きがある場合をいい、最近では、目が乾く「ドライアイ」とともに注目されつつあるもので、推定800万人の患者さんがいるともいわれています。



たとえば、次のような症状はありませんか？

- ・口が乾く
- ・つばが出ない
- ・話しづらい
- ・舌がヒリヒリ痛い
- ・食べ物がかみず飲み込めない
- ・味がわからない
- ・水をいつも飲んでる
- ・口臭が気になる
- ・夜間飲水のために起きる
- ・むし歯や歯槽膿漏がひどくなった

心当たりがあるようであれば、一度診察を受けたほうが良いかもしれません。また、ドライマウスは若年者よりも中高年者に、男性よりは女性に多く発現します。

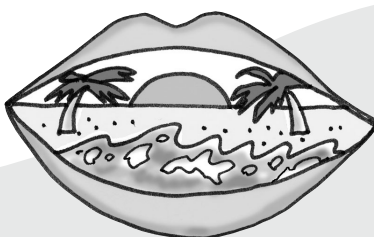
## ★治療方法は？

ドライマウスの治療は原因によつてさまざまですが、全身疾患が原因となつて

いるようであれば、その全身疾患を改善することが必要となりますし、使用中の薬の種類や量を変えることもあります。また、生活指導により生活習慣を変えることが重要となることもあります。対症療法としては保湿剤等も用いられます。シュガーレスガムやシュガーレスキャンディを利用することで、症状が和らぐこともあります。

## ★何科にかかったらよいか？

ドライマウスかな？と思ったら、まず歯科を受診してください。現在ではドライマウスの専門的なトレーニングを受けた歯科医もおりますし、一般歯科からドライマウス外来のある病院をご紹介しますことも可能ですので、ご相談ください。



## ドライマウスの原因

ドライマウスの原因を、おおまかにいうと…

- 糖尿病、腎疾患などの全身疾患



- 薬の副作用



- 口呼吸や喫煙



- 唾液腺の病気



- 中枢や末梢の神経障害



- 精神的ストレス



などが考えられますが、「シェーグレン症候群」という、自己免疫疾患の一種が原因になっていることもあります。要するに、唾液の分泌が少なくなってもドライマウスになりますし、唾液の量が変わらないのに乾燥する率が高くなっていくこともあるわけです。

○参考資料、引用資料  
 ・「ドライマウス、あなたの口、乾いていませんか？」斎藤一郎、日本評論社  
 ・Dry Mouth Society in Japan  
 ・The Wisdom Tooth Home Page  
 ・National Institute of Dental and Craniofacial Research